



2026年2月13日

各 位

会 社 名 日 機 製 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役 社長 執行役員 加藤 孝一
(コード番号 6376 東証プライム)
問 合 せ 先 執行役員 コーポレート部門長 村上 雅治
(TEL. 03-3443-3717)

剩余金の配当（期末配当）および次期配当予想（ともに増配） に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年12月期（2025年1月1日～2025年12月31日）の期末配当について、2025年12月31日を基準日とする剩余金の配当および次期2026年12月期（2026年1月1日～2026年12月31日）の配当予想について決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 剩余金の配当（期末配当）について

（1）期末配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2025年2月14日発表)	前期実績 (2024年12月期)
基 準 日	2025年12月31日	2025年12月31日	2024年12月31日
1株当たりの配当金	22円00銭 (普通配当 22円00銭)	18円00銭 (普通配当 18円00銭)	15円00銭 (普通配当 15円00銭)
配 当 金 総 額	1,435,846,654円	—	993,738,600円
効 力 発 生 日	2026年3月12日	—	2025年3月12日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）増配の理由

当社は、財務健全性、資本効率及び株主還元の最適なバランスを追求しつつ、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現していくことを基本的な資本政策としています。継続的かつ安定的な利益還元は当社の資本政策の重要な柱であるとの基本認識のもと、業績、経営環境などを総合的に勘案した利益還元を行なっていくとともに、新規事業の育成、生産体制の強化に向け内部留保を適正に再投資に振り向けています。

中期経営計画「Nikkiso2025 フェーズ2」（2023年～2025年）（以下、「中計フェーズ2」）では、事業収益力の改善、財務健全性と資本効率性を前提とし、2025年12月期の総還元性向35%を目安として、株主還元の安定的向上に取り組んできました。2025年12月

期の期末配当については、全社収益性の改善に加え、主力事業の事業拡大の進展等により中計フェーズ2で掲げる営業利益目標を達成した状況等を鑑み、1株当たり18円から4円増配し、1株当たり22円とします。この結果、2025年12月期の年間配当金は1株当たり40円となります。

2. 次期配当予想について

(1) 次期配当予想の内容

	1株当たり配当金(円)		
	中間期末	期末	合計
次期予想 (2026年12月期)	25円00銭	25円00銭	50円00銭
当期実績 (2025年12月期)	18円00銭	22円00銭	40円00銭
前期実績 (2024年12月期)	15円00銭	15円00銭	30円00銭

(2) 増配の理由

当社は、新中期経営計画『NIKKISO 2028 - Toward a Healthier World』(2026年～2028年)（以下、「NIKKISO 2028」）を2026年2月13日に公表し、10年後にありたい姿「『Healthier World』の実現に向け挑戦しつづける日機装」に向けて、新たな事業機会の開拓と経営基盤の強化による強靭かつサステナブルな経営体質の構築に取り組んでまいります。

「NIKKISO 2028」では、収益力の向上を前提とした累進配当を基本方針とし、これまでの増配推移を加速する形で2028年にはDOE（株主資本配当率）2.5%水準を目指して株主還元を強化します。長期的には、DOE3%を目指して株主還元の安定的向上を図ってまいります。

次期2026年12月期の配当については、上記基本方針に基づいて、1株当たり50円の年間配当金を予定しています。

以上